



# 学力UP便り

令和8年1月9日(金)

第3号

発行：教務部



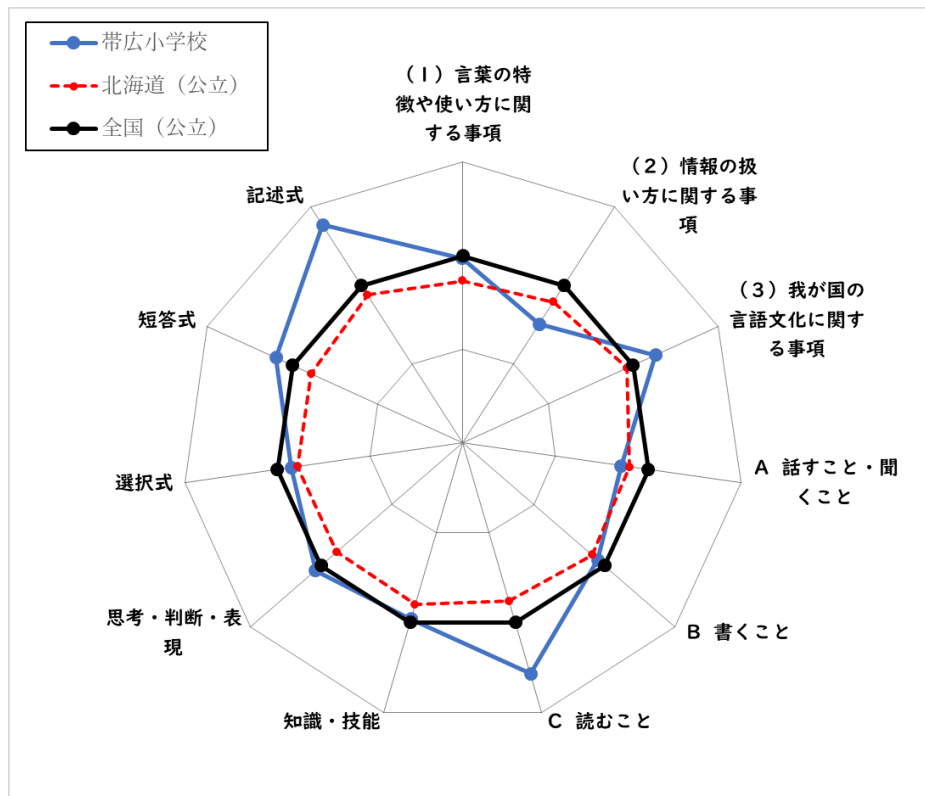
## 全国学力・学習状況調査の結果から



この度、4月17日に実施いたしました全国学力・学習状況調査の結果概要をご報告いたします。この調査は、全てのお子様等しく質の高い教育を受ける機会を確保し、その水準を維持向上させるため、子どもたちの学力や学習状況を把握・分析し、教育指導の充実や改善に役立てることを目的としています。

本校の結果概要と、学校・ご家庭で共有したい今後の学習のヒントをご紹介します

### 【国語】



国語は、全国の平均正答率とほぼ同等の結果となりました。

#### <強みとなった点>

特に「読むこと」の領域において、文章や図表を結び付けて必要な情報を見つける設問で、全国平均正答率を上回りました。

記述式の問題の正答率も高く、解答用紙には、指定された文字数を満たそうとする努力の跡が見られました。

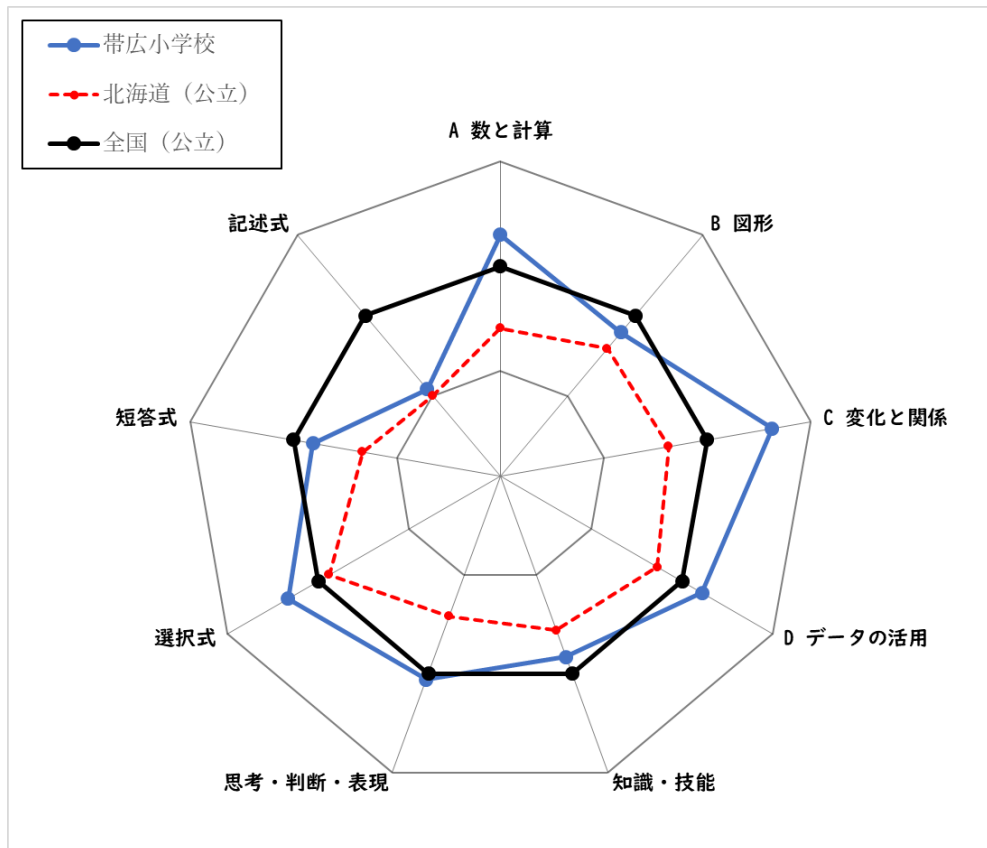
#### <課題となった点>

「情報の扱い方に關する事項」では、全国平均正答率を下回りました。これは、情報同士の関係付けの仕方や、語句同士の関係の表し方を理解し、使いこなすことに課題があることを示しています。

#### <今後の学校での取り組み>

自分の考えと友達の考えを比較しながら話す活動や、意見を求められたときに自分の考えをまとめて話す活動など、対話を通じた言語活動を積極的に授業に取り入れていきます。

## 【算数】



算数は、全国の平均正答率とほぼ同等の結果となりました。

### <強みとなった点>

日常生活の事象に関する問題（ハンドソープの使用量や、一日に必要な野菜の摂取量を考えるもの）で高い正答率でした。

問題文や資料から必要な数量を見つけ出し、求めたい数量の計算方法を式や言葉を使って記述することができており、無解答率も低かったです。

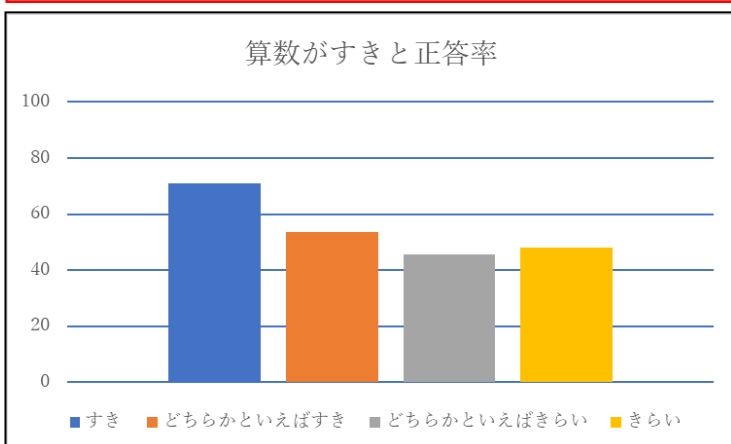
### <課題となった点>

記述式の問題は、全国平均正答率を下回りました。特に、「図形」の領域で、三角形や台形などの面積の公式を基に、多角形の面積の求め方を説明する問題に課題がありました。

解答を見ると、図形の名前は分かっているにもかかわらず、公式の間違いや計算の間違い、答えが条件に合わないなどのミスが見られました。

### <今後の学校での取り組み>

これまでに習った考え方や経験を基に、さらに学びを深め、広げていく授業を目指していきます。

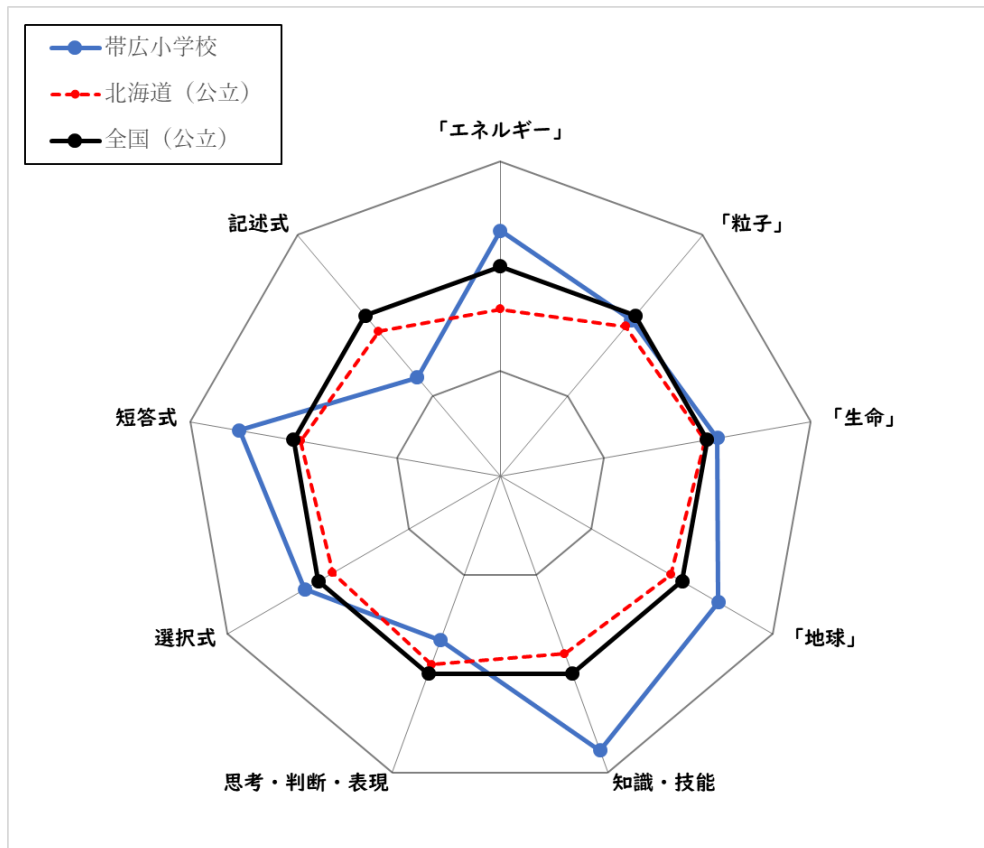


左のグラフは、児童質問紙の「算数の勉強は好きですか」という質問に対して、選択した子どもたちの平均正答率を表したものです。

このグラフから、**算数の勉強が好きなお子様ほど、平均正答率が高い**ということがわかります。

このことから、**専科指導による深い学びやICTを活用した個別最適な学び、協働的な学習を基盤にしたよく分かる授業づくり**に努めていきます。

## 【理科】



理科は、全国平均正答率とほぼ同等の結果となりました。

### <強みとなった点>

「知識・技能」の観点で全国平均正答率を上回っており、基礎的・基本的な知識がしっかり定着していることが分かります。

実験や観察を大切にしながら授業を進めることで、結果だけでなく過程を含めた「実感を持った知識」を身に付けていることがうかがえます。

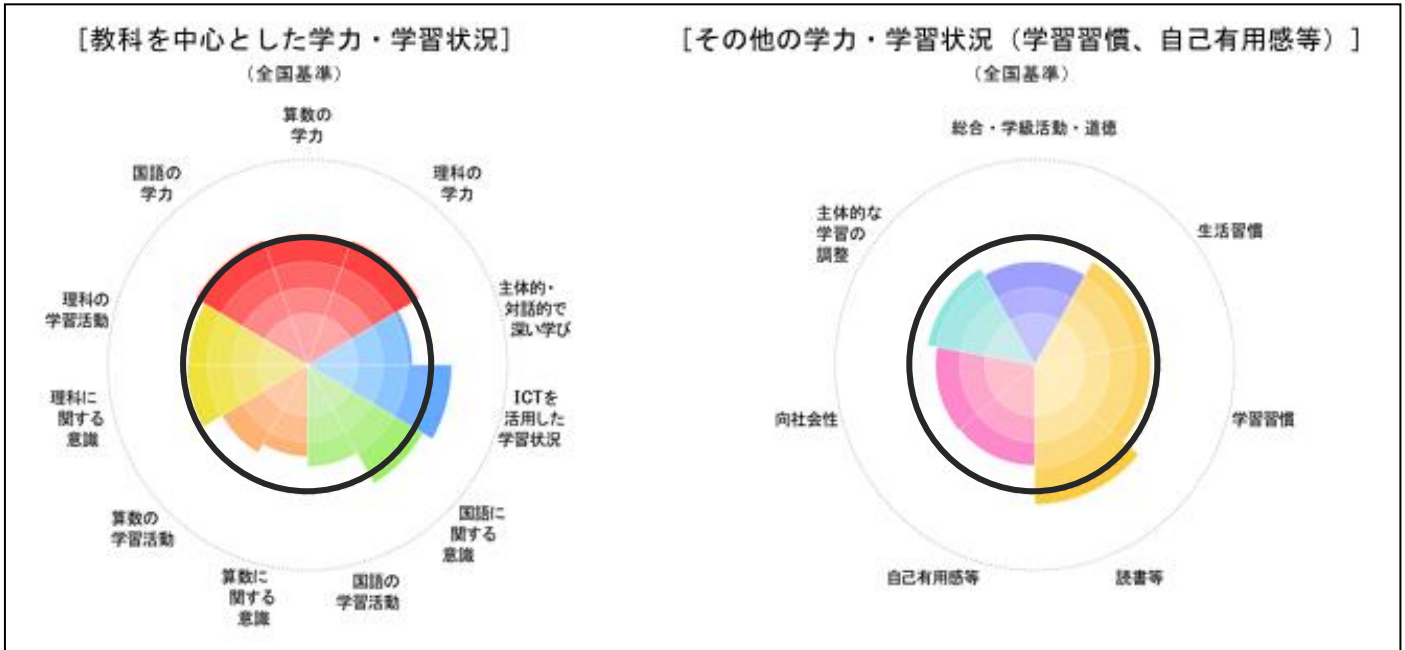
### <課題となった点>

記述式の問題は、全国平均正答率を下回りました。特に、実験結果から違いや共通点を基に、「新たな問題を見だし、表現する」ことを問う設問に課題が見られました。(例：発芽の3つの条件は理解しているが、児童の疑問に答えるための追加実験を考案することに戸惑いがあるようです) この問題は他の問題よりも無解答率が高かったです。

### <今後の学校での取り組み>

問題解決の場面で、計画した実験が予想を確かめられるか検討したり、改善したりする学習活動を展開していきます。

## 【質問紙調査】



学力調査のほかに実施された質問紙調査では、学習への興味・関心、生活習慣、規範意識などについて調査しました。

### <全国平均を大きく上回った点>

ICT を活用した学習状況に関する項目は全国平均を大きく上回りました。子どもたちが、ICT を利用するメリットや価値を実感しながら適切に活用しようとする姿が見られます。

### <全国平均と同等だった点>

国語、算数、理科の学力（赤い部分）や、理科に対する興味・関心（黄色の部分）は全国平均と同等の結果でした。

### <全国平均を下回った点>

算数への興味・関心が全国平均を下回っています。また、「自分には、よいところがあると思う」「人の役に立つ人間になりたいと思う」といった「自己有用感」や「向社会性」に関する項目も全国平均を下回る結果となりました。

## 学習習慣・生活習慣

- △毎日同じくらいの時刻に起きたり寝たりしている。
- ▽一日当たり60分以上、家庭学習をしていますか。

「している」「あてはまる」と回答した割合の全国との比較

- △上回っている
- ▽下回っている

## 自己有用感・向社会性

- ▽自分には、よいところがあると思う。
- ▽先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。
- ▽人の役に立つ人間になりたいと思う。

## 学習に対する興味・関心

- △理科の勉強は得意だ。
- △理科の勉強は好きだ。
- △国語・算数・理科の授業内容はよくわかる。
- △国語・算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- ▽国語・算数の勉強は得意だ。
- ▽国語・算数の勉強は好きだ。

# 学力向上に向けた取組

## 学校では・・・

- ☆ **基礎・基本の確実な定着**を目指します。
- ☆ 各種調査や単元テスト等の結果の**分析と課題の共有化**を図り、授業改善に役立てていきます。
- ☆ 専科指導による**深い学びの充実**を図ります。
- ☆ ICT 機器を効果的に活用し、子どもたちの**個別最適な学び**につなげていきます。
- ☆ 宿題の提示や、**家庭学習への取組の充実**を図ります。
- ☆ 子ども困り感や不安に気づき、**寄り添う指導**を行っていきます。

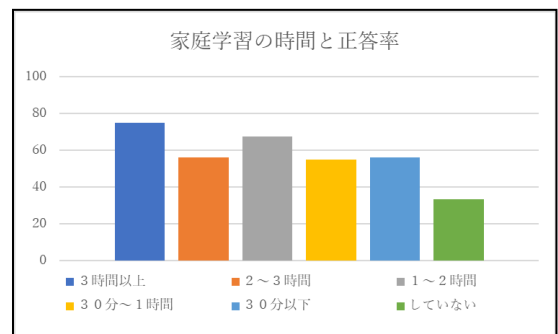
## 家庭に向けてのお願い・・・

### ☆生活習慣の見直し

- ・朝食を摂り、就寝時刻、起床時刻を決めて、毎日継続しましょう。

### ☆家庭での学習時間の確保

右のグラフは、児童質問紙の「家庭学習は一日どのくらいの時間していますか。」という質問に対して選択した子どもたちの平均正答率を表したものです。このグラフから、**家庭学習を1時間以上している子どものほど、平均正答率は高い**ということが分かります。



このことから・・・

- ・時間帯を決めて毎日継続しましょう。**家庭での学習時間は「学年×10+10分」**です。
- ・宿題の他に**自主学習**にも取り組みましょう。自主学習は、子どもが自ら学習計画を立てて実行することが大切です。子どもの自主性を育てるため、計画立てに取り組む姿を見守り、応援してください。

※帯広小学校学校便りNO29に「家庭学習」について掲載しています。是非ご覧ください。

### ☆心が触れ合う時間の確保

- ・頑張ったこと、挑戦しようとしたことを認めて、褒め、子どものやる気を育てましょう。
- ・たくさん会話をしたり、本を読んだりする機会をとりましょう。

子どもたちの健やかな成長のためには、ご家庭の協力が不可欠です。職員一同、指導に努めてまいりますので、引き続き本校の教育活動へのご理解・ご協力をお願いいたします。

\*帯広市の結果も、帯広市教育委員会から公表されています。関心をお持ちの方は、市のホームページなどでご覧いただけますので、ご参照ください。